ゲートキーパーの直接モード、ルーテッドモード、プロキシモードとは何ですか。

内容

[はじめに](#)
[ゲートキーパーの直接、ルーテッドおよびプロキシ モードは何を意味しますか。](#)
[関連情報](#)

はじめに

この記事は、Cisco TelePresence MCU 4203、Cisco TelePresence MCU MSE 8420、Cisco TelePresence IP VCR 2210、Cisco TelePresence VCR MSE 8220、Cisco TelePresence ISDN GW 3241、Cisco TelePresence ISDN GW MSE 8321、Tele2に3に関連ですPresence IP GW 3510、Cisco TelePresence MCU 4505、Cisco TelePresence Video Communication Server Expressway、およびCisco TelePresence MCU MSE 8510製品

Q.ゲートキーパーでの直接、ルーテッド、プロキシモードとは何ですか。

A. H.323ゲートキーパーは最大4つのモードで動作できます。すべてのモードですべてのゲートキーパーが動作できるわけではありません。ゲートキーパーのマニュアルを参照して、サポートされているモードを確認してください。

直接モード

これは、ゲートキーパーがアドレス帳と同じくらいの役割を果たす最も単純なゲートキーパーモードです。エンドポイントがコールを発信する許可をゲートキーパーから受け取り、E.164アドレス変換を受け取ると、ゲートキーパーはコールでそれ以上の役割を果たしません。

ほぼすべてのゲートキーパーがこのモードをサポートしています。TANDBERG Codian製品の組み込みゲートキーパーはこのモードのみを使用します。

H.225ルーテッドモード

直接モードのゲートキーパーの機能を実行するだけでなく、H.225ルーテッドモードのゲートキーパーは、コールのセットアップに関連するH.225メッセージのプロキシとして機能します。これにより、ゲートキーパーはコールで使用される全体的な帯域幅を制御できます。

多くのゲートキーパーがこのモードをサポートしています。Radvision ECSでは、これをQ.931ルーテッドモードと呼び、Polycom PathNavigatorをルーテッドモードと呼んでいます。

H.245ルーテッドモード

H.245ルーテッドモードのゲートキーパーは、H.225ルーテッドモードのゲートキーパーの機能を

実行しますが、メディア制御に関連するH.245メッセージのプロキシとしても機能します。メディアパケットだけがエンドポイント間で直接通過するH.225ルーテッドモードの利点に加えて、ゲートキーパーはコールで使用されているビデオおよび音声コーデックを制御し、フロー制御を実装できます。

TANDBERG VCSとTANDBERG Gatekeeperでは、これをルーテッドモードと呼びます。

フルプロキシモード

完全プロキシモードのゲートキーパーは、すべての設定、制御、メディアパケットをルーティングします。エンドポイントは互いのIDを検出できず、ファイアウォールトラバーサルに使用できるため、セキュリティ上の利点があります。多くのゲートキーパーは、必要な処理量が多いため、このモードをサポートしません。

TANDBERG VCSのインターワーキングモードでは、H.323デバイスとSIP参加者の間でコールを発信できます。このシナリオでは、フルプロキシモードで動作します。同様に、TANDBERG VCSまたはTANDBERGゲートキーパーがH.460ファイアウォール越えを実行している場合は、フルプロキシモードが使用されます。いずれの場合も、コールには越えライセンスが必要です。

関連情報

- テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。